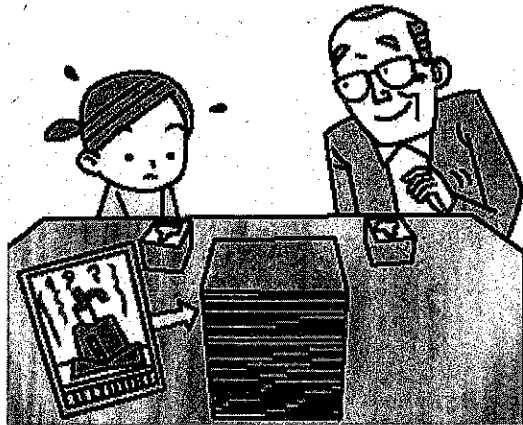


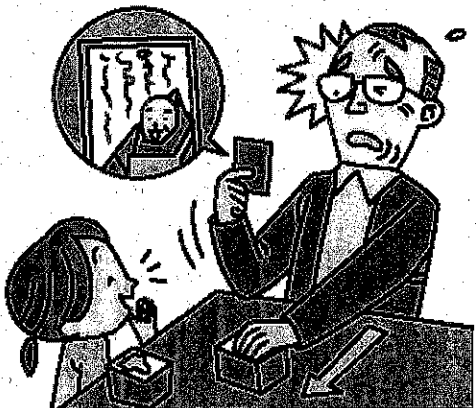
子育て・親子

# 得意な遊びで勝負する

覚えていますか？ 坊主めぐり



●絵札だけを裏返しにして積み重ね、上から順にめくっていく。



●男性の絵札が出たら手元に「坊主が出たら、ためた絵札を全部捨てる。姫が出たら捨て札を全部めくられる。手札の多い人が勝ち」

※エガリテ大手前監修「じいじとばあばのためのあそび図鑑」(ベースボールマガジン社)から

## ●もっと周囲に甘えて

### パパママへ

今の親世代は人に頼んだり頼られたりするのが上手でないと感じる。自由を享受する一方で「自己責任」を問われてきた世代だからだと思うが、甘めたりできる関係を作りたい。

孫を連れ出すことになったら、さて何をするか。ポイントは自分が子どもに戻って一緒に遊ぶことだ。親世代、つまり娘や息子の目がなければ、

## ●子ども時代に戻る

祖父母に余裕があるなら、「息子・娘の家を訪ねて孫を連れ出す」ことを持ちかけてみてほしい。「今度孫を夕方まで連れ出そうと思うが、どうだろう。その後一緒に飯でも食おう」と提案してみよう。確かに週末に予定が入っている時もあるだろうが、このように一度声をかけてみるのは邪魔にならないはずだ。

【田村佳子】

## 孫育てのツボ



5月のテーマ

# 孫を連れ出そう

「うちの息子、娘は忙しそう」と感じることはありませんか？ 元商社マンで、孫育て講座を手がけるNPO法人代表の古久保俊嗣さん(60)は「孫を連れ出して親を休ませよう」と勧めます。

## ●疲れている親世代

孫が保育園や幼稚園、小学校に入ると、孫と会えるのは週末や長期休みが基本になる。「そこは家族だらけの時間。息子や娘のお邪魔に

働強化はずっと進んでいる。若い頃「企業戦士」と言われていた祖父でも、職場には一般的に今より余裕があり、会社に家族的温かみもあった。今は正社員でもストレスは激しく、非正規雇用となれば精神的にも肉体的にも一層厳しい。その疲れは団塊世代には想像できないほど。さらに共働き世帯が増え、男女とも仕事に育児に追われる親は休みがほしいと

## 教えてくれる人

ふるくほ じゅんじ 古久保 俊嗣さん



NPO法人「エガリテ大手前」代表。孫1人。同法人は育児に携わる祖父をソムリエと名づけ、各地でソムリエ講座を開催している。